

婦人関係業務資料 № 63

婦人週間アンケート結果報告

(第26回婦人週間)

労働省婦人少年局



は し が き

婦人週間は、本年第26回を迎えました。この週間の実施にあたって労働省では、例年特定のテーマを選んで運動をすすめてきました。本年は行事の一つとして、中央、地方における婦人週間の主要行事に参加した方々を対象に本調査を実施しました。

婦人の地位や社会問題に関心をもたれる方々の御参考になれば幸いです。

昭和49年8月

労働省婦人少年局

目 次

はしがき	
調査の概要	1
I 調査の目的	1
II 対象者	1
III 調査時期	1
IV 方法	1
V 調査項目	1
調査結果	3
I 回答者の属性	3
II 婦人の地位に関して	4
III 社会的関心について	7
婦人週間記念アンケート	11

調 査 の 概 要

I 調査の目的

婦人の地位や社会的関心などについては握し、今後の婦人行政の参考に資する。

II 対象者

全国婦人会議及び地方婦人会議参加者全員(8,762名)ただし、有効回答数は5,985名。

III 調査時期

昭和49年3月～5月

IV 方法

会議参加者にアンケート用紙を配布し、即日回収した。

V 調査項目

1. 一般的に言って婦人週間は知られていると思いますか。
2. 婦人週間には全国各地で婦人会議などの行事がありますが、このように婦人があつまって話しあう機会は必要だと思いませんか。
3. いまの社会の問題でもっとも関心をもっているのはどんなことですか。(24項目中から3つを選択)
4. あなたはそれらの問題を解決するために努力していることが

調 査 結 果

ありますか。

5. あなたのまわりに婦人の地位が異性とくらべて低いと思う例
ありますか。

6. あなたの生活の中にもっとほしいものはなんですか。

(12項目中から3つを選択)

I 回答者の属性

1. 性別及び年齢等

有効回答総数は 5,985 名で、これは会議参加者の約 70% に
あたる。

回答者を性別にみると、男性は 4% のみで、96.0% は女性で
ある。

年 令

総数	20才 未 満	20~29	30~39	40~49	50~59	60才 以 上	不 明
100%	1.8	11.1	13.4	29.0	25.4	15.7	3.7

年齢別では、40代が 29.0%、50代が 25.4% と 40~
59 才が半数以上を占め、ついで 60 才以上 (15.7%)、30代
(13.4%)、20代 (11.1%) の順である。また 20 才未満も
1.8% みられた。

未婚別では、回答者の 74.5% が既婚者で、未婚者は 13.3
% である。

2. 職 業

総数	あ り						な し					不明
	小計	勤めて いる	家業を している	内職を している	その他	不明	小計	家事 のみ	学生	その他	不明	
100%	59.6	32.2	16.9	5.2	5.0	0.3	37.9	30.9	1.2	4.8	1.0	2.5

回答者のうち、職業があると答えた者は59.6%、家事のみや学生など無職と答えた者が37.9%あった。

有職者の内訳では、雇用者が32.2%で最も多く、家業が16.9%、内職5.2%、その他5.0%となっている。

II 婦人の地位に関して

1. 婦人週間について

「一般的に言って婦人週間は知られていると思いますか」という問いに対して、知られていると思っている者は71.8%にのぼるが、そのうち、「ある程度は知られていると思う」と答えた者が大半(65.4%)で、「多くの人に知られていると思う」と答えた者は6.4%である。また、「殆んど知られていないと思う」と答えた者も25.5%いる。

第1表 婦人週間は知られていると思いますか(%)

総 数	100.0
多くの人に知られていると思う	6.4
ある程度は知られていると思う	65.4
殆んど知られていないと思う	25.5
わ か ら な い	1.6
不 明	1.1

昭和45年に婦人少年局が万国博婦人の日(4月14日)を記念して、日本館入館者を対象に行った調査によると、婦人週間があることを知っていた者は63.0%におよび、知らなかった者

は31.6%となっている。

2. 婦人があつまって話しあう機会は必要か

毎年、婦人週間にあたって、全国各地で婦人会議など多様な行事がもたれているが、このように婦人があつまって話しあう機会が「必要だと思う」と答えた者は92.9%と高く、「必要ではないと思う」という者は1.3%にすぎない。なお、必要かどうかわからないという者も3.8%みられた。必要だという回答が非常に高いのは、婦人会議参加者のみを回答者としていることにもよると思われる。

第2表 婦人があつまって話しあう機会は必要だと思いますか(%)

総 数	必 要	不 要	わからない	不 明
100.0	92.9	1.3	3.8	2.0

3. 婦人の地位が男性と比べて低いと思う例があるかということについて

「あなたのまわりに、婦人の地位が男性とくらべて低いと思う例がありますか」という問いに対して、「ある」と答えた者は83.1%おり、そのような例は「ない」と答えたものは9.3%にすぎない。

なお、参考までに前記万国博調査の「婦人の能力は男性にくらべて生かされていないという見方がありますが、あなたはど

う思いますか」という問の回答をみると、「婦人の能力は生かされていない」という者が68.1%、「婦人の能力は生かされている」という者が15.5%である。

第3表 あなたのまわりに婦人の地位が男性とくらべて低いと思ひ例がありますか(%)

総 数		100.0
あ る	小 計	83.1 (100.0)
	家 庭	15.1
	職 場	27.8
	近 隣	13.2
	団 体	7.2
	社会一般	57.0
	そ の 他	0.7
不 明	3.5	
な い		9.3
わ か ら な い		5.0
不 明		2.6

注：「ある」の内訳は多答のため計は100をこえる。

婦人の地位が男性とくらべて低いと思ひ例がどんなところでみられるかという点については、「社会一般」と答えた者が57.0%で最も多く、ついで職場(27.8%)、家庭(15.1%)、近隣(13.2%)、団体(7.2%)、その他(0.7%)の順となっている。

第3表の2 婦人の地位が低いと思ひ
その主な理由 (%)

総 数	100.0
婦人自身の努力が足りない	31.9
職場や家庭の理解が足りない	14.1
慣習や物の考え方による	48.1
そ の 他	1.5
不 明	4.4

婦人の地位が男性と比べて低いと思ひ主な理由としては、「伝統的慣習や物の考え方による」というのが48.1%と半数に近く、職場や家庭の婦人に対する理解が足りない(14.1%)と合わせると62.2%にのぼるが、一方、婦人自身の努力が足りないという者も31.9%みられる。

前記、万国博調査では婦人の能力は生かされていないことの原因として、「婦人の努力が足りない」と答えた者が51%にのぼり、職場や家庭での理解が十分でない41.5%、その他6.3%となっている。

II 社会的関心について

1. いまの社会で最も関心をもっている問題

婦人が、いまの社会の問題で最も関心をもっているものを設問の中から3つあげてもらったところ、物価が71.7%で第1位を占め、ついで教育(26.8%)、人間関係(23.9%)、公害(23.5%)、老後(19.6%)、福祉(17.7%)、政治(16.5%)

人の心の乱れ(14.5%)、生きがい(14.4%)、資源(11.7%)、社会保障(10.8%)などに大きな関心が寄せられている。

第4表 いま社会の問題でもっとも関心をもっているものは
どんなことですか。(3つを選択) (%)

総数	100.0		
物価	71.7	福祉	17.7
モノ不足	3.7	交通問題	4.5
公害	23.5	資源	11.7
税金	6.8	社会不安	6.8
賃金	6.3	世相の混乱	7.6
老後	19.6	人の心の乱れ	14.5
仕事	2.8	社会保障	10.8
住宅	4.4	売春問題	1.6
教育	26.8	国際問題	4.0
生きがい	14.4	人間関係	23.9
レジャー	0.9	世相の断絶	3.8
政治	16.5	その他	0.6

注：多答のため計は100をとえる。

2. 問題を解決するために努力していることがあるか

婦人が、以上のような社会の問題を解決するために努力していることがあるかを問うたところ、努力していることが「ある」

と答えた者が82.9%みられた。努力していることは「ない」という者は10%にすぎない。

ついで、それらの努力をどんなところでしているかをみると、「団体」というのが一番多く61.5%あり、「家庭で」の28.2%がそれにつき、友人(11.6%)や1人で(11.1%)という場合もみられる。

第4表-2 問題を解決するために努力していることがありますか (%)

総数	100.0
あ	82.9 (100.0)
小計	
1人で	11.1
家庭で	28.2
友人と	11.6
団体で	61.5
その他	2.4
不明	0.7
ない	10.0
不明	5.1

注：「ある」の内訳は多答のため計は100をとえる。

3. 生活の中にもっとほしいもの

「あなたの生活の中にもっとほしいものはなんですか」ときき、設問から3つを選んでもらった。第1位は「心の余裕」で53.9%、2位が「自然とのふれあい」(33.0%)、3位が

「向学心の充足」(26.8%)で、「親子の理解」も20%みられた。その他、家庭のだんらん(19.7%)、近隣とのつきあい(16.8%)、使命感(16.8%)、友情(16.5%)などが続き、宗教(10.3%)、芸術(10.2%)よりも、夫婦の愛情(6.8%)、異性の交際(3.3%)の方が少ない。

第5表 あなたの生活の中にもっと
ほしいものはなんですか (%)

総 数	100.0
夫婦の愛情	6.8
親子の理解	20.0
家庭のだんらん	19.7
近隣とのつきあい	16.8
友 情	16.5
異性との交際	3.3
心の余裕	53.9
使 命 感	16.8
向学心の充足	26.8
自然とのふれあい	33.0
宗 教	10.3
芸 術	10.2

注：多答のため計は100をこえる。

(附)

婦人週間記念アンケートのお願い

次の問について該当するところに○印をつけてください。

問1.

1. 性別	イ. 男	ロ. 女	2. 未既婚別	イ. 未 婚	ロ. 既 婚
3. 職	1. ある	<input type="checkbox"/> ① 勤めている <input type="checkbox"/> ② 家業をしている <input type="checkbox"/> ③ 内職をしている <input type="checkbox"/> ④ その他	4. 住んでいる 都道府県名		
				5. 年 令	<input type="checkbox"/> ① 20才未満 <input type="checkbox"/> ② 20才～29才 <input type="checkbox"/> ③ 30才～39才 <input type="checkbox"/> ④ 40才～49才 <input type="checkbox"/> ⑤ 50才～59才 <input type="checkbox"/> ⑥ 60才以上
業	2. なし	<input type="checkbox"/> ① 家事のみ <input type="checkbox"/> ② 学 生 <input type="checkbox"/> ③ その他			

問2. 一般的に言って、婦人週間は知られていると思いますか。

- ① 多くの人に知られていると思う
- ② ある程度は知られていると思う
- ③ 殆んど知られていないと思う
- ④ わからない

問3. 婦人週間には、全国各地で婦人会議などの行事がありますが、このように婦

人があつまって話しあう機会は必要だと思いませんか。

- ① 必要だと思う
- ② 必要ではないと思う
- ③ わからない

問4. いまの社会の問題で、もっとも関心をもっている問題はどんなことですか。

(次のなかから3つ選んでください)

- | | | | |
|---------|----------|---------|--------|
| ① 物 価 | ② モノ不足 | ③ 公 害 | ④ 税 金 |
| ⑤ 賃 金 | ⑥ 老 後 | ⑦ 仕 事 | ⑧ 住 宅 |
| ⑨ 教 育 | ⑩ 生きがい | ⑪ レジャー | ⑫ 政 治 |
| ⑬ 福 祉 | ⑭ 交通問題 | ⑮ 資源問題 | ⑯ 社会不安 |
| ⑰ 世相の混乱 | ⑱ 人の心の乱れ | ⑲ 社会保障 | ⑳ 売春問題 |
| ㉑ 国際問題 | ㉒ 人間関係 | ㉓ 世代の断絶 | |

その他

問5. あなたは、それらの問題を解決するために努力していることがありますか。

- ① ある →

そ れ は	イ 自分1人で
	ロ 家族と協力して
	ハ 友人や隣人と一緒に
	ニ グループや団体の中で
	ホ その他

② ない

問6. あなたのまわりに、婦人の地位が男性とくらべて低いと思う例がありますか。

- ① ある →

ど ん な と こ ろ で	イ 家庭で
	ロ 職場で
	ハ 近隣(地域)で
	ニ 団体で
	ホ 社会一般に
	ヘ その他
	その主な理由は
① 婦人自身の努力が足りない	
② 職場や家庭での婦人に対する理解が足りない	
③ 伝統的慣習や物の考え方による	
④ その他	

② ない

③ わからない

問7. あなたの生活の中にもっとほしいものはなんですか(次のうちから3つ選んでください)。

- | | | |
|----------------|------------|-----------|
| ① 夫婦の愛情 | ⑤ 親子の理解 | ⑩ 家庭のだんらん |
| ② 近隣とのしたしいつきあい | ⑥ 友情 | |
| ③ 異性との交際 | ⑦ 心の余裕 | ⑪ 使命感 |
| ④ 向学心の充足 | ⑧ 自然とのふれあい | ⑫ 宗教 |
| ⑨ 芸術 | | |

(ご協力ありがとうございました)